

作品展に向けて

対象：5歳児つばき組

作成日：2020年1月28日(火)

保育のねらい・作品展に向けて意欲的に作品作りに取り組む。

作成者：池下桃代



振り返り

・年長児最後の大きな行事であることを伝えると、「え！これで終わるん？」と驚きながら作品を作っていたつばき組さん達。モバイルやドーム、万華鏡、を作って、絵画を描いている中で、クラスの子全員で「どうする？」とたくさん会話をしながら大切に作りあげました。その中でも、一人一人が何をすれば良いのかわかると、黙々と没頭して作り、活動の楽しさが学べたようで、「僕これ切りよるけん、〇〇くんはこれする？」と、優しく誘う姿や、役割が自然と担えている、カッコいいお兄さんお姉さんな嬉しい姿が、当たり前のように作品作りの際に見られました。また、作品展がきっかけで、仲が良くなるにつれて、意見の行き違いで口論になってしまうこともあったのですが、しっかりと言葉で解決が出来るように丁寧に時間をかけて関わっていくと、「〇〇ちゃんって面白い。」と言い、自ら友達の色々な面に気付き、繋がりを保つことも出来ました。そして、活動後も片付けをしようと自主的にごみを拾おうとする姿も見られました。

作品展、子ども達もとても楽しみにしている会話が毎日聞かれます。当日、イキイキとした笑顔が見られることが楽しみです♪ (言葉による伝え合い、豊かな感性と表現、協同性、自立心、数量・図形・文字等への関心)